



拓殖大学工学部

ORANGE CUP 2021

第11回 アイデアのタネコンテスト

Title :
サイバースイミングゴーグル

有竹 祐樹

東京都立多摩科学技術高等学校

キャッチフレーズ：
サイバースイミングゴーグル

きっかけ：
水泳部の活動で練習をしている時、今どれくらい泳いだのか、スピードはどのくらい出ているかがいつも気になっていた。それが泳いでいる最中にわかるようにしたいと考えたから。

説明：
効率的な水泳の練習を促進することを目的とする。
専用ゴーグルと、複数の専用センサーを使う。
プールのコースロープにセンサーを一定間隔で配置する。
ゴーグルを装着すると、センサーとの通信が始まる。
センサーと通信し、ゴーグルのレンズに、現在時刻、スポーツタイマー、泳いでいる速さ、泳いだ距離といった、さまざまな情報が表示される。

